

④新規用途開発による地域農産物の需要拡大、ブランド向上

## 十勝ロイヤルマンガリツァ豚を使った加工食品の開発、製造及び販売

幕別町で育った希少価値の高いマンガリツァ豚を使った食肉加工品を開発・製造し、販売を通じて、ブランド豚としての地位確立を目指す。

### ➤ 連携体

農林漁業者

(有)有機実業(法人番号 9460102003672)(農業)

豚の飼育・肥育を行い、飼育頭数拡大に対応した農地・施設整備を実施する。

中小企業者

(株)丸勝(法人番号 2460101001691)(食料品製造業)

マンガリツァ豚の付加価値を高めた商品(生ハム、ドライソーセージ等)の開発・製造・販売を行う。

連携参加者

(大)帯広畜産大学(法人番号 9460105001715)

(公財)とかち財団(法人番号 8460105000494)(専門サービス業)

本連携事業において、共同研究、栄養分析、衛生管理の助言を行う。

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構北海道本部(法人番号 2010405004147)

### ➤ 連携の経緯

(株)丸勝は、レストランやショップを運営する観光ガーデン施設“十勝ヒルズ”の食品製造販売・食肉加工販売事業を発展させるため、十勝ヒルズブランドの新たな商品開発を重要視していた。一方、(有)有機実業は、マンガリツァ豚の生産拡大及び安定供給のため、インフラ整備などに課題を抱えていた。従来から取引関係である間柄を活かし、十勝地域のパートナーとして双方の発展のために新たな商品開発に取り組むこととなった。

十勝ヒルズで提供中のメニュー

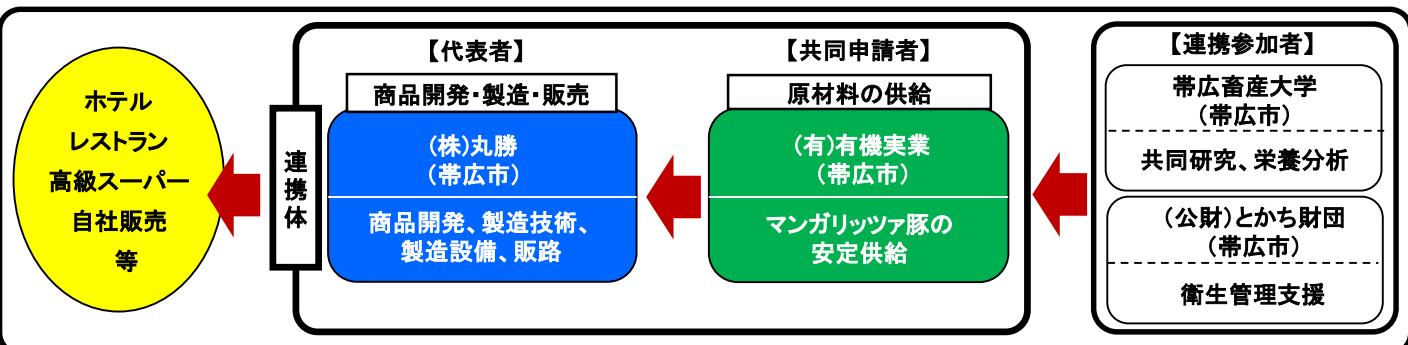


### ➤ 連携に当たっての課題や工夫等

(株)丸勝は、自社で飼料設計できる強みを活かして、飼料レベルからマンガリツァ豚の肉質向上を検討する。また、新商品については、マンガリツァ豚の希少性と特長を活かしたブランド化を図り、他の銘柄豚との差別化を目指す。

(株)丸勝及び(有)有機実業は、帯広畜産大学の協力を得て、生ハム、ドライソーセージの旨みを引き出す最適な熟成技術の検討やマンガリツァ豚の飼育・肥育方法及び産子数の増加に関する研究を実施し、マンガリツァ豚の品質向上、安定供給を目指す。

マンガリツァ豚



### ➤ 連携による効果

農林漁業者

5年で約5,200万円の売上高増加。

安定した販売先の確保による農業経営の安定化、飼育・肥育ノウハウの蓄積。

中小企業者

5年で約7,500万円の売上高増加。

希少なマンガリツァ豚を使用した新商品開発による売上の増加、ブランド豚としての認知度向上。

### ➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社丸勝

T E L : 0155-37-4211

E - m a i l : —

所在地：北海道帯広市西25条南1丁目1番地

F A X : 0155-37-6135

ホームページ：http://www.tokachi-hills.jp/